

情報通信審議会 情報通信技術分科会 技術戦略委員会
革新的情報通信技術プロジェクトワーキンググループ
(第3回) 議事要旨

1. 日時 令和5年3月6日(月)～令和5年3月7日(火)

2. 場所 メール開催

3. 出席者

①構成員

森川 博之(主任)、長内 厚、木村 亮示、杉浦 孝明、立本 博文、平田 貞代

②オブザーバー

国立研究開発法人情報通信研究機構オープンイノベーション推進本部

4. 配付資料

資料3-1 革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業に係る事業面からの適切な
評価の在り方等について(案)

5. 議事

(1) 革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業に係る事業面からの評価の在り方等
について(WGとりまとめ案)

資料3-1に基づき検討を行い、各構成員から以下のとおり意見があった。

事務局において以下のとおり対応し、森川主任と相談の上、WGとりまとめが了承された。

○木村構成員：

P3の「一定の仮定を置いた提案も許容される」という部分を「今後の検証を前提に一定
の仮定を置いた提案も許容される」と変更してはどうか。それ以外の点は事務局案に賛同
する。

(事務局回答)

ご指摘のとおりWGとりまとめ案を修正する。

○杉浦構成員：

全体として、これまでのWGでの議論が漏れなく整理されており異論はない。1点、言葉の

使い方だけの問題だが、P3の表中の①の、3つ目の●の2文目、「(原案)特に、そのニーズを満たすことで、資金の流れを通じた事業化や価値獲得に繋がることが具体的に想定できるか。」となっているが、「資金」というと事業のもとでになる資産のイメージがある。ここでは、ニーズに応じた商品やサービスを販売し、その商取引の対価として売上げをあげる等の状況を想定しておられると思うので、例えば、「(修正案)特に、そのニーズを満たすことで、顧客(ユーザ)による支払いその他の価値獲得を通じた事業化に繋がることが具体的に想定できるか。」のような文案はどうか。

(事務局回答)

ご指摘のとおりWGとりまとめ案を修正する。

○平田構成員：

これまでの議論が適切に反映されており異論ない。事務局案に賛同する。

○立本構成員：

事務局案に賛同する。

○長内構成員：

事務局案に賛同する。

○森川構成員：

事務局案に賛同する。

(以上)